

キャロッセプロトンプロジェクト、東京オートサロン2012に出展

株式会社キャロッセ(代表取締役:長瀬努、本社:群馬県高崎市)は、昨年1月の東京オートサロン2011におきまして、マレーシア最大の自動車メーカーであるプロトン社のスポーツモデル、サトリアネオを日本に正規輸入、販売することを発表いたしました。この背景には、昨今の経済不況と、私どもの原点でもあるモータースポーツ業界の閉塞感を脱却する為、また業界の活性化を目指しこのプロジェクトをスタートさせました。そして、このキャロッセ・プロトン・サトリアネオプロジェクトは、日本国外内でプロモーション活動と共に、正規輸入・販売に関わる諸手続を進めてまいりました。

まず、これまで日本に正規輸入実績がないサトリアネオのパフォーマンスを実証するため、ベース車両本来の性能が大いに問われるラリー競技のグループNカテゴリー車両を、FIAアジア・パシフィック・ラリー選手権(APRC)および全日本ラリー選手権(JRC)に投入しました。

2011年シーズンはAPRCにおいて、二輪駆動部門チャンピオンをマレーシアのカラムジット・シン選手により獲得、ジュニアカップでは番場彬選手がチャンピオンを獲得、そしてJRCにおきましても、JN3クラスのチャンピンを牟田周平選手が獲得しました。日本国内はもとより海外においてもサトリアネオの基本性能の高さ、走行安定性と高い戦闘力をアピールすることができました。

また競技参戦と並行して競技パーツの開発も順調に進み、現在では当初予定していた競技パーツラインナップも整いほとんどの部品が供給可能となりました。この様に立ち上げ1年目にして、着々とプロジェクトの推進がスムーズに推移することができたのも、マレーシアのプロトンとキャロッセのグローバルな連携によって結集した成果であります。また同時に本格的な車両販売に向けての体制も順調に整いつつあります。

特にプロトンのモータースポーツディビジョンの一部門であるR3(Race, Rally, Research)部門は、レースカー並びにラリーカー等のパフォーマンスパーツの研究、開発の他、モータースポーツへの実戦を通じプロトン車へのハイパフォーマンス、走安性、高品質等の先行開発を担っております。更にプロトン社はグローバル戦略の位置付けにモータースポーツを積極的に活用していることも、キャロッセと共通認識を持ち、このプロジェクトに大きな支えとなったことは言うまでもありません。

2012年、キャロッセはサトリアネオの販売を本格的に開始します、モータースポーツ活動を重要なプロモーションとして位置付けるプロトン社と、より一層連携を深め、日本初となるプロトン社の正規代理店として、スポーツイメージを持った他車種の日本市場への展開やモータースポーツベース車両を積極的に導入、拡販を行って参りたいと思います。と、同時に、プロトン車を使用したAPRCや国内モータースポーツに参戦するユーザーへ積極的に支援してゆきたいと考えております。

今回展示いたしております車両は、R3部門が開発をいたしましたサトリアネオの後継コンセプトカー、アルティガとSAGA R3モデルです。アルティガは1.6Lにスーパーチャージャーを搭載し、ボディは特殊カーボンファイバーをふんだんに採用し軽量化されております。またマレーシアでポピュラーなファミリーカー、SAGAに1.6L DOHCエンジンを搭載し、スポーティに仕立てられたR3バージョンです。さらに今回、現行サトリアネオにR3開発のボディキット、アルミホイール及びクスカサスペンションや補強パーツを装着し、市販車両をスポーティーイメージに仕上げた車両です。

今後、プロトン社が発表いたしますスポーティモデルをキャロッセは日本マーケットに発信していきます。

展示車両:

1. Satria Neo CUSCO Version車(R3部品、CUSCO部品装着車)
2. ARTIGA Concept車(参考出品)
3. SAGA R3 Concept車(参考出品)
4. Satria Neo Engine with Superchager (参考出品)